

## 「武蔵一宮氷川神社参拝と博物館見学 (1925/1/28)」を終えて

2025年1月 B班 杉山

B班で打ち合わせをしたところ、新年始めの企画として「神社参拝はいいね」でした。埼玉に住んでいて知っているがなかなか行かない「武蔵一宮氷川神社」、そしてその近くにある「埼玉県立歴史と民族の博物館」で国宝2点が展示されるとわかり、目的地が決定した。

大宮駅連絡通路中央付近にある「まめの木」周辺に集合。集合場所として有名であるが、埼玉県南西部に住んでいる我々は知らない人が多い。添付した大宮駅構内の地図を見ながら、これがまめの木かと、一安心した様子でした。

本日は3名が体調不良等で欠席し、11名が集合した。大宮駅東口を出て、参道へ向かった。両側が車道で、中央が歩道になっていて、とても歩きやすかった。まず見えたのはこの鳥居で、そして三の鳥居でした。一の鳥居はさいたま新都心駅近くにあって、全長は約2kmあり、日本一長い参道とのこと。この近くに住んでいたら、毎日散歩ができるとか、道路沿いに大きな家が目立ち、裕福な人が多く住んでいるようだなどと聞こえてきました。



武蔵一宮氷川神社の二の鳥居

参拝後は小動物園へ。入園は無料である。右側から見ていくと、ウサギが目にとまり、若いときにウサギを飼っていた話で盛り上がりました。ハイエナの頑強そうな手足や首などを見ると、人間はとても勝てないような恐怖を感じました。次にフラミンゴを見た。どの鳥も片足で立っている。じっくり眺めると、もう一方は腹の中に収まっている。理由を調べたところ、足は水に浸かり、羽毛がなく冷えやすいため、片足で立って他方は腹の中で保温し、交互に繰り返しているとのこと。

さあ、ランチタイムだ。東屋やたくさんの長椅子があったが、日当たりの良い長椅子を探した。風がほとんどなく、お腹が満たされると、昼寝をしたくなる気分でした。

本日のメインテーマである国宝を見に博物館へ行った。全体が10の部屋に分かれ、3番目の部屋にあった。景光・景政によって作られた太刀、景光が制作し上杉謙信が所持した短刀である。お城へ行くときよく刀を見るが、外観による差はわからない。有名人が制作し、所持したところに価値があるようだ。

多くの人と話をしたり、太陽や木々などに癒やされたりして、夜から翌朝にかけてぐっすり眠れ、久しぶりの快眠でした。



埼玉県立歴史と民族の博物館